



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 ゼット株式会社

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 渡辺裕之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 山下龍美

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,883	2.1	80	—	99	—	42	—
25年3月期第2四半期	19,476	△2.0	△108	—	△77	—	△93	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 113百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △122百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	2.15	—
25年3月期第2四半期	△4.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	19,416	7,460	38.4	380.86
25年3月期	20,152	7,348	36.5	375.03

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 7,460百万円 25年3月期 7,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,600	—	150	—	200	—	110	—	5.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	20,102,000 株	25年3月期	20,102,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	512,223 株	25年3月期	508,221 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	19,591,781 株	25年3月期2Q	19,599,013 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策や日銀の金融政策を背景に、円高が是正され、輸出関連企業を中心に企業業績が改善するなど、景気回復の兆しが見られました。一方、円安の影響による燃料や原材料などの輸入価格の高騰もあり、実体経済の確実な回復までには至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、①グループのスリム化と中核事業への集中、②自社品とカテゴリー別に独自の価値を創造、③低コスト経営（コスト競争力）の追求、④経営基盤（人材・IT・物流）の強化を基本方針とし、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高19,883百万円（前年同四半期比2.1%増）、営業利益80百万円（前年同期は営業損失108百万円）、経常利益99百万円（前年同期は経常損失77百万円）、四半期純利益42百万円（前年同期は四半期損失93百万円）となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、一部に景気回復基調にあるものの、個人消費の回復には至らず、販売競争は一段と激化し、引き続き厳しい経営環境が続いております。このような状況の中、「外商・スクール」及び「アスレ」マーケットにおいては、野球・ソフト用品は低調に推移したものの、サッカー用品、テニス・バドミントン用品、卓球用品、スポーツシューズは堅調に推移いたしました。「ライフスタイル」マーケットは、スポーツアパレル、フットウェアは低調に推移したものの、アウトドア用品は堅調に推移いたしました。「ボディケア」マーケットは、健康シューズの商品供給の回復により明るい兆しが見えたものの、「コンプレッション」アンダーウェアは、市場での各ブランド競争は激しく、苦戦を強いられました。

この結果、売上高は18,546百万円（前年同四半期比2.9%増）となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益性・事業性・戦略性の再確認の施策の下、商品企画、開発力の強化に努めました。野球・ソフト用品は、「プロステイタス」に続くハイグレードゾーンで操作性一点に特化した硬式グラブ「ネオステイタスシリーズ」を発売し好評価を得たものの、全体的な底上げには至らず、卸売部門同様に低調に推移しました。「コンバース」ブランドのバスケットウェアは引き続き堅調に推移しました。健康関連用品は、全般的に低調に推移いたしました。

この結果、売上高は262百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。

(小売部門)

小売部門は、ネット販売店の増加により販売競争が一段と激化し、厳しい環境は続いておりますが、平成25年6月に富士山が世界文化遺産に登録されたこともあり、登山ユーザーが増加しアウトドア用品は堅調に推移いたしました。一方、アパレル・フットウェアは、引き続き個人消費の低迷や消費者の購買スタイルの多様化の影響により、苦戦が続いております。

この結果、売上高は363百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

(その他)

物流部門は、外部の受託業務を拡大したことにより、堅調に推移いたしました。

スポーツ施設運営は、会員数のアップを図るべく、新サービスの強化や販売促進活動を強化いたしました。平成25年7月をもってスポーツクラブゼオス宇部店を閉店したこともあり、低調に推移いたしました。

この結果、売上高は711百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ736百万円減少し、19,416百万円となりました。これは主に、現金及び預金が252百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が673百万円、商品及び製品が291百万円減少したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ、849百万円減少し、11,955百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が141百万円増加したものの、短期借入金で922百万円減少したこと等によるものであります。純資産については、前連結会計年度末に比べ112百万円増加し、7,460百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が42百万円、その他有価証券評価差額金が59百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年5月15日の「平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,205	2,458
受取手形及び売掛金	8,993	8,319
商品及び製品	3,120	2,829
仕掛品	65	65
原材料及び貯蔵品	96	88
繰延税金資産	89	82
その他	139	149
貸倒引当金	△19	△34
流動資産合計	14,691	13,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,114	3,934
減価償却累計額	△2,888	△2,745
建物及び構築物（純額）	1,225	1,189
土地	2,443	2,443
その他	1,325	1,320
減価償却累計額	△1,166	△1,150
その他（純額）	158	169
有形固定資産合計	3,828	3,802
無形固定資産		
その他	63	63
無形固定資産合計	63	63
投資その他の資産		
投資有価証券	832	925
長期貸付金	48	43
敷金	299	268
その他	477	441
貸倒引当金	△88	△87
投資その他の資産合計	1,569	1,591
固定資産合計	5,461	5,457
資産合計	20,152	19,416

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,133	8,275
短期借入金	1,930	1,007
未払法人税等	26	35
未払消費税等	21	76
賞与引当金	180	173
その他	590	405
流動負債合計	10,882	9,972
固定負債		
長期借入金	291	302
繰延税金負債	157	187
退職給付引当金	327	332
長期未払金	302	300
その他	843	859
固定負債合計	1,922	1,982
負債合計	12,804	11,955
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,148	3,190
自己株式	△71	△72
株主資本合計	7,050	7,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	352
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	4	15
その他の包括利益累計額合計	297	368
少数株主持分	—	—
純資産合計	7,348	7,460
負債純資産合計	20,152	19,416

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	19,476	19,883
売上原価	15,475	15,973
売上総利益	4,000	3,910
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	347	288
運賃及び荷造費	321	341
賃借料	176	156
役員報酬及び給料手当	1,413	1,361
貸倒引当金繰入額	8	14
賞与引当金繰入額	201	164
減価償却費	96	71
その他	1,544	1,430
販売費及び一般管理費合計	4,108	3,829
営業利益又は営業損失(△)	△108	80
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	12	10
受取賃貸料	9	9
業務受託料	10	10
その他	25	21
営業外収益合計	58	52
営業外費用		
支払利息	7	7
売上割引	17	15
保険解約損	—	6
その他	3	4
営業外費用合計	28	34
経常利益又は経常損失(△)	△77	99
特別損失		
事業撤退損	—	27
特別損失合計	—	27
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77	72
法人税、住民税及び事業税	10	22
法人税等調整額	4	7
法人税等合計	15	30
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△93	42
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93	42

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△93	42
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	59
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	2	11
その他の包括利益合計	△29	71
四半期包括利益	△122	113
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△122	113
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△77	72
減価償却費	104	78
事業撤退損失	—	27
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	25	△7
退職給付引当金の増減額(△は減少)	9	4
受取利息及び受取配当金	△13	△11
支払利息	7	7
売上債権の増減額(△は増加)	984	673
たな卸資産の増減額(△は増加)	△114	298
仕入債務の増減額(△は減少)	△253	141
未払消費税等の増減額(△は減少)	△34	54
その他	△197	△155
小計	447	1,197
利息及び配当金の受取額	13	11
利息の支払額	△7	△7
法人税等の支払額	△19	△17
営業活動によるキャッシュ・フロー	433	1,184
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10	△3
無形固定資産の取得による支出	—	△6
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
長期貸付金の回収による収入	5	5
長期貸付けによる支出	△2	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△900
長期借入れによる収入	—	200
長期借入金の返済による支出	△251	△211
配当金の支払額	△0	△0
その他	△29	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281	△935
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	144	252
現金及び現金同等物の期首残高	2,197	2,205
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,341	2,458

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。